

令和4年度第1回横浜市市民協働推進センター事業部会 会議録

議 題	1 市民協働の提案事業の審査について								
日 時	令和4年8月9日(火) 13時30分から16時43分まで								
開催場所	横浜市市民協働推進センター スペースA B								
出席委員	田辺由美子部会長、齊藤ゆか委員、林重克委員、永岡鉄平専門委員								
欠席委員	吉武美保子専門委員								
開催形態	一部非公開(傍聴者0)								
議事・ 決定事項	<p>1 開会</p> <p>2 前回会議録の確認</p> <p>3 議題 市民協働の提案事業の審査について【非公開】</p> <table border="1" data-bbox="379 819 1394 1120"> <thead> <tr> <th>提案事業名</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築</td> <td>66.50</td> </tr> <tr> <td>横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援</td> <td>83.25</td> </tr> <tr> <td>海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム</td> <td>77.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は、別紙(第6号様式)のとおり</p>	提案事業名	点数	広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築	66.50	横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援	83.25	海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム	77.25
提案事業名	点数								
広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築	66.50								
横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援	83.25								
海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム	77.25								
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1: 審査にあたっての考え方</li> <li>資料2: 広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築(提案書)</li> <li>資料3: 広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築(プレゼンテーション資料)</li> <li>資料4: 横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援(提案書)</li> <li>資料5: 横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援(プレゼンテーション資料)</li> <li>資料6: 海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム(提案書)</li> <li>資料7: 海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム(プレゼンテーション資料)</li> </ul>								
特記事項	なし								

(第6号様式)

市民協働事業審査結果通知書（提案支援事業）

市市協第542号

令和4年9月13日

災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ様

横浜市長 山中 竹春

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築
提案者	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ
採択の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択
点数	66.5点
<p>審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。</p> <p>《横浜市市民協働推進委員会の意見》</p> <p>広域大規模災害の発生が身近なものになってきている。発災直後の対応のみならず、被災から復旧に向けて、様々な災害関連死や事件等に対応するためには、行政だけでは限界があることを関係機関や多くの人に理解してもらえるよう、平時から様々な形のネットワークを構築し、行政や社会福祉協議会を巻き込んだつながりづくりを期待する。</p> <p>広域すぎてモデルになりにくいいため、今後は特定の区を対象としたネットワークモデルづくりなど、実績作りにも力を入れてもらいたい。</p> <p>今年度の事業計画については、提案主が提起している事業の到達点が分かりづらく、単なる勉強会となってしまっているように見える。人件費を必要とする理由も不明瞭で、助成金終了後の事業展開についても具体性明確性に欠ける。</p>	

(第6号様式)

市民協働事業審査結果通知書（提案支援事業）

市市協第527号

令和4年9月13日

ちょこっと子育てレスキュー隊 様

横浜市長 山中 竹春

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだいの地域での支援
提案者	ちょこっと子育てレスキュー隊
採択の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択
点数	83.25点
<p>審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。</p> <p>《横浜市市民協働推進委員会の意見》</p> <p>困難を抱えた家庭への支援は重要であり、モデルケースになりうる事業である。保護者にとってニーズがとてもある事業であり、ぜひ継続させてほしい。事業をスタートさせるにあたりニーズ調査を行っており、そのデータも活用した施策化を期待している。</p> <p>本事業が、縦割りの行政を横に繋ぐ好事例となることを期待する。また、様々な立場の団体やボランティアを巻き込んで事業を展開することや、障害への理解や多様性の尊重など、当事者支援にとどまらない事業効果も大切に続けてもらいたい。</p> <p>ただし、今後の継続性の問題は解決していない。また、他の療育センターでも同様の課題があるのではないかと。今回の取組をモデル事業として、施策化等を含めて継続化や他地区への波及など課題解決に取り組む必要があるのではないかと。</p>	

(第6号様式)

市民協働事業審査結果通知書（提案支援事業）

市市協第537号

令和4年9月13日

京セラ株式会社、NPO法人海の森・山の森事務局 様

横浜市長 山中 竹春

横浜市市民協働推進委員会（横浜市市民協働推進センター事業部会）での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	海洋プラスチック削減のための河川でのプラスチック回収システム
提案者	京セラ株式会社、NPO法人海の森・山の森事務局
採択の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択
点数	77.25点
<p>審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準（60点）に達している。</p> <p>《横浜市市民協働推進委員会の意見》</p> <p>企業とNPO法人と行政とが協働することで、環境教育を推進する意義は大きいと考える。具体的な装置を設置して現況を見える化すること、データ分析により現状を客観化することで、市民の環境に対する認識に大きな影響を及ぼし、具体的な環境行動の変容を促す効果がある。また、装置の設置場所が横浜市を代表する観光スポットであり、全国的な発信力も期待できる。</p> <p>特に、次世代の子どもたちへの環境教育が大事だと考えるが、NPO法人のこれまでの出前授業の実績などを生かし、しっかりと取り組んでいただきたい。</p> <p>一方、提案書の中では、企業とNPO法人との役割分担がわかりにくかった。NPO法人が設置に向けての水質調査や河川流量調査、行政と企業との調整役を行い、装置設置を活用した環境教育プログラムの企画実施を担当するのであれば、そのことを前面に出した方が良いのではないかと。子どもたちをターゲットに、海洋汚染の元凶であるプラスチック問題の意識啓発に取り組むというのが伝わるとよい。大岡川だけでなく、他の河川についても広がることを期待している。</p>	